

BIOTERRORISM

史上最大の暗殺軍団

デントタルプライク

奥田 克爾 著
Katsuji Okuda

TERROR BACTERIAL MASS

医歯薬出版株式会社

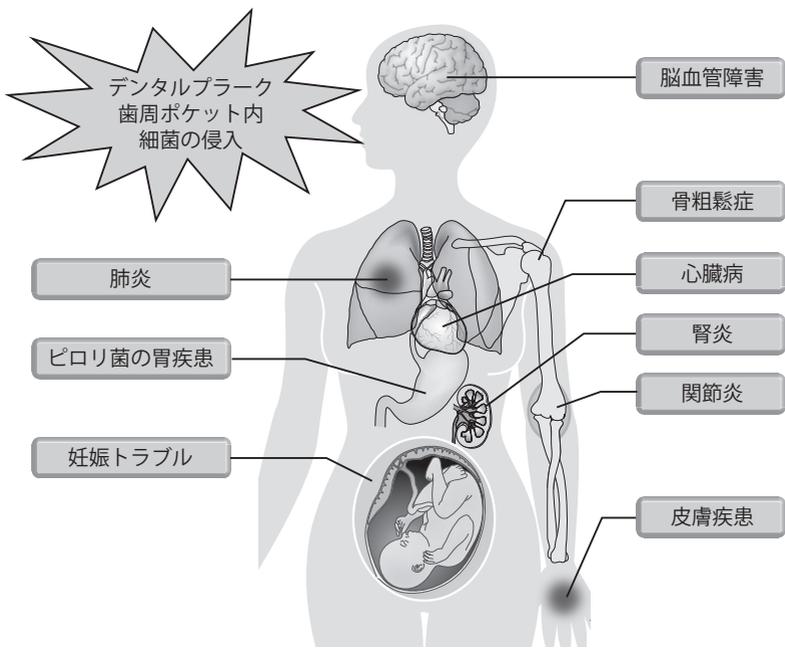


Fig-1 デンタルプラーク細菌や歯周ポケット内の細菌や毒素などは、頻りに血流に入り込みます。また、唾液に混入した細菌は、就眠中に気管支や肺まで流れ込んでしまいます。そのため、この図に示したようなさまざまな全身疾患の引き金になり、その病気の悪化に加担してしまいます。

う本に残しています。この本は、歯科医師の故片山恒夫先生が中心になられて、彼の教え子でわたしの同級生の土居元良君が理事長を務めるNPO法人恒志会で『食生活と身体の退化』として訳本が出されています。世界各地の調査を「母なる自然に添う時、生命は完全な花を咲かせる」と、200枚を超える写真とともに発表されていました。

ブライスは、精製された砂糖（スクロース、蔗糖、白糖）のない自然食をとることのできる生活が可能であることを多くの写真で示し、生活に自然食を取り込まなければならぬことを書いています。う蝕は、砂糖を生活習慣に取り入れることに始まることを明らかにしました。

わたしがブライスの残された足跡に惹き付けられているのは、ハーバード大学の医学部教授や著名な医師達との「う蝕は全身

木に銅板などを貼付けて文字を書き込んだ感謝状は、プラークともいいます。デンタルプラークは「歯に付着したもの」で、実体は数百種類の細菌がコミュニケーションをとりながらゆるゆる物質の多糖体でスクラムを組んだテロ集団にもなるバイオフィルムです。

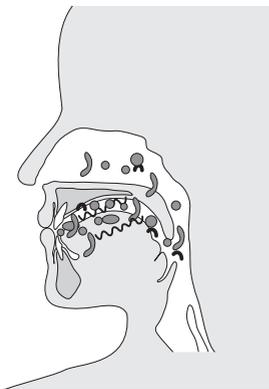
成人の口腔内で歯面の占める面積の割合は、約25%です。残りの75%は、舌面、頬粘膜、口蓋粘膜そして咽頭粘膜などです。各部位でつくられるバイオフィルムの細菌フローラには、その部位だけにしか定着できないものが多いことが分かってきました。

この章では、口腔内各部位の細菌フローラの特徴などについて解説します。

DENTAL PLAQUE

口腔内は何百種類もの細菌の巣窟

口腔内細菌の付着因子は、ヒトの口腔内の細胞のレセプターにしか結びつくことができません。唾液や歯肉溝液の糖たんぱく質は、磨いた歯の表面に速やかに付着して、ペ



デンタルプラーク
歯周ポケット
舌
頬粘膜や咽頭
唾液

口腔を清潔にしている人	100億以下
口腔清掃習慣のない人	1,000億個前後
う蝕や歯周病のある人	1,000億個以上
自分で口腔清掃の出来ない人	1兆個前後

Fig-7 デンタルプラーク、歯周ポケット、舌面、頬粘膜などにへばりつく細菌は、固有の細菌フローラをつくりそれぞれ縄張りを築いています。

女性の若いままで美しくいたいという願望には、男性も惹き付けられます。結婚式で同席できた八千草薫さん、飛行機で隣の座席だった草村礼子さんの気品ある美しさに圧倒され、その時の胸の高鳴りは消えています。彼女達は、女性のアンチエイジングのお手本であると感じています。

宝田恭子さんは、以前から宝田式メソッドでNHKや徹子の部屋などの出演だけでなく、自分でできる健康美づくりとしてNHK出版の『口元エクササイズ』、主婦の友社の『ねこ背を直せば顔まで若返る』や『老けない作法』などたくさんの本を書いています。斬新でありながらだれでも、いつでも、どこでもできるアンチエイジングについてのリーダーで、アンチエイジング歯科学会でも活躍しています。彼女との共同研究で、アロマセラピーに使うエッセンシャル・オイルには、ミュータンス菌や歯周病原菌の増殖を抑えてくれるはたらきがあることを発表してきました。

女性に圧倒的に多いのが骨粗鬆症です。リウマチ関節炎など自己免疫疾患も、女性に多い疾患です。この章では、それらの病気にも関わる歯周病原菌について解説します。

DENTAL PLAQUE

歯周病原菌は安産をじやまする

デンタルプラーク細菌には、女性ホルモンをビタミンにして数を増して病原性を発揮する嫌気性細菌も棲みついています。妊娠すると胎盤でホルモンがつくられ、血流から歯肉溝液にも入り込みます。そうすると、胎盤ホルモンのエストロゲンなどをビタミンとするプレボテラ・インターメディア (*Prevotella intermedia*) が歯周局所に爆発的に増えてきます。この菌の内毒素などは、歯肉に炎症を起こし、歯肉から出血させます。すると、血液成分を栄養源とするさまざまな歯周病原菌が増加してしまいます。

酸成分を切断するノイラミニダーゼ (neuraminidase) 酵素たんぱく質のNA突起です。

HA突起もNA突起もたんぱく質です。インフルエンザウイルスに感染すれば、それらのたんぱく質に対しては抗体がつけられます。抗体をつくらせるものが抗原ですから、HA突起、NA突起はそれぞれHA抗原、NA抗原でもあるわけです。

DENTAL PLAQUE

襲来 変身し続けるインフルエンザウイルスの

季節型インフルエンザは、例年12月から3月にかけて短期間に蔓延することがほとんどです。A型インフルエンザウイルスは、HA突起もNA突起も変化させます。変異したA型インフルエンザウイルスはしばしば大流行 (パンデミック) を起こします。

1918年から大流行を起こしたA型のスペインインフルエンザウイルスは、HA突起とNA突起がそれぞれ1型という組み合わせのH1N1型です。このH1N1型のウイルスの流行が約40年間続きました。次いで、1957年にはH2N2型のアジア型といわれるインフルエンザの流行がはじまって11年間続き、

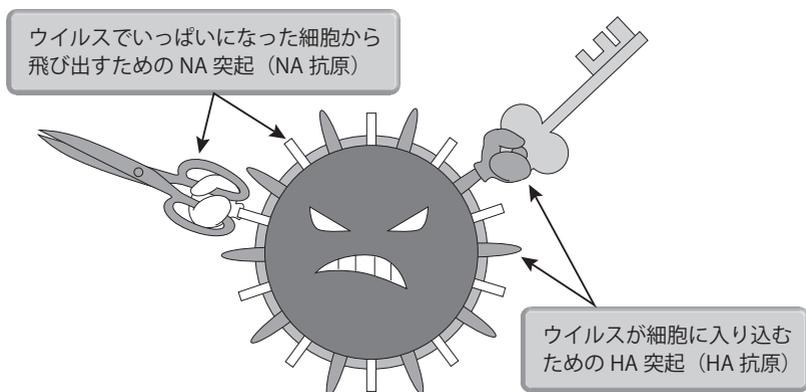


Fig-32 インフルエンザウイルスは、標的細胞に入り込むための鍵となるHA突起とウイルス粒子でいっぱいになった細胞から飛び出すための鋏となるNA突起をもっています。